

木津川市環の拠点創出事業準備委員会条例

木津川市環の拠点創出事業準備委員会条例

平成 24 年 12 月 26 日条例第 35 号

(設置及び目的)

第 1 条 木津川市山城町上狛地域が築いてきた茶文化による観光の推進と地域間交流を促進するための環の拠点創出事業準備委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第 2 条 委員会の所掌事務は次のとおりとする。

- (1) 環の拠点創出事業に関する調査及び審議を行うこと。
- (2) 前号の環の拠点創出事業に関して、市長に提言すること。

(組織)

第 3 条 委員会は、委員 12 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者から市長が委嘱する。

- (1) 地域住民の代表者
- (2) 識見を有する者
- (3) その他市長が必要と認める者

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、平成 26 年 3 月 31 日までとする。

(会長及び副会長)

第 5 条 委員会に会長及び副会長 1 人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長は、委員会を代表し、その会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会は、会長が招集し、会長が議長となる。ただし、最初にかれる会議については、本条の規定にかかわらず市長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第 7 条 委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(公開)

第 8 条 委員会の会議は、公開とする。ただし、会長が必要と認めるときは、

公開しないことができる。

2 委員会の会議の日時及び場所等については、あらかじめ広く周知することに努めるものとする。

3 委員会の会議の資料及び結果は、その開催後、速やかな公表に努めるものとする。ただし、第1項ただし書の規定に基づき会議を公開しない場合は、その資料及び結果を公開しないこととする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、企画担当課において処理する。

(委任)

第10条 この条例に定めるもののほか、委員会の設置及び運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(会議の特例)

2 第5条第2項の規定にかかわらず、会長が選出されるまでの間、第9条の庶務を処理する担当課長がその職務を代理する。

(失効)

3 この条例は、平成26年3月31日限り、その効力を失う。

木津川市環の拠点創出事業準備委員会 名簿

(敬称略)

区分	氏名	構成団体
第 1 号委員	福井 保知	上狛南部地域（地域長）
第 2 号委員	(会 長) 山崎 正史	立命館大学理工学部（教授）
	(副会長) 岡井 有佳	立命館大学理工学部（准教授）
第 3 号委員	川邊 隆司	山城茶業組合（組合長）
	坂本 利正	木津川市観光協会（理事長）
	杉野 耕造	自転車関連産業
	辻 忠	山城町ふるさと案内人の会（会長）
	出栗 伸幸	サイクリング愛好家
	花田 啓	京都やましろ農業協同組合（山城支店長）
	藤原 久博	木津川市山城町商工会（会長）
	吉村 由美子	サイクリング愛好家

【委員区分】

第 1 号：地元地域の代表者

第 2 号：学識経験者

第 3 号：市長が認める者

(商工団体、茶業団体、観光団体、自転車産業、サイクリスト)

【オブザーバー】

京都府山城広域振興局企画振興室

室長 辻村 徳夫（平成 25 年 2 月 14 日～
平成 25 年 3 月 31 日）

室長 湯瀬 敏之（平成 25 年 4 月 1 日～）

京都府総務部自治振興課 参事 藤岡 栄

木津川市環の拠点創出事業準備委員会検討経過

■第1回木津川市環の拠点創出事業準備委員会（平成25年2月14日）

- ・委員委嘱
- ・会長及び副会長の選出
- ・議事
 - （報告事項）
 - ・委員会の役割及び運営
 - （協議事項）
 - ・環の拠点創出事業の概要
 - ・自転車利用者アンケート調査
- ・現地視察

■第2回木津川市環の拠点創出事業準備委員会（平成25年3月27日）

- ・議事
 - （報告事項）
 - ・第1回準備委員会現地視察結果
 - ・自転車利用者アンケート結果
 - （協議事項）
 - ・施設選定について
 - ・設置方法について
 - ・導入機能について

■第3回木津川市環の拠点創出事業準備委員会（平成25年5月9日）

- ・議事
 - （協議事項）
 - ・環の拠点創出事業に関する提言書骨子（案）について
 - ①導入機能について
 - ②運営主体について
 - ③運営手法について
 - ④広報戦略について
 - ⑤設置財源について

■木津川市環の拠点創出事業準備委員会にかかるワークショップ

（平成25年6月20日）

- ・協議内容
 - 環の拠点創出事業内容について

■第4回木津川市環の拠点創出事業準備委員会（平成25年8月23日）

・議事

（協議事項）

・環の拠点創出事業に関する提言書（中間案）について

①第1章 木津川市の現況と環の拠点創出事業

②第2章 環の拠点創出事業準備委員会の検討内容

③第3章 事業の将来性

■第5回木津川市環の拠点創出事業準備委員会（平成25年11月21日）

・議事

（協議事項）

・木津川市環の拠点創出事業に関する提言書について

パブリックコメントに対する市の考えについて

・提言書の提出について

自転車利用者アンケートの実施結果

■アンケートの目的

自転車利用者のニーズを調査し、拠点施設の導入機能や広報戦略の検討資料とする。

■配布方法等について

アンケートは、自転車道を走行している方と木津川サイクリング倶楽部が行った初心者講習会の参加者を対象として実施した。

なお、自転車道を走行している方には自転車道配布用を、また初心者講習会の方には団体等配布用を用いた。

	自転車道利用者	初心者講習会（木津川サイクリング倶楽部）
実施日	平成25年3月9日（土）	平成25年2月24日（日）
実施場所	府道京都八幡木津自転車道線 上津屋橋（流れ橋）休憩所	アスパアやましろ
配布数・回収数	100人	28人
配布方法	休憩している方に配布・回収	講習会参加者に配布・回収

■アンケートの概要

アンケートの設問は、以下の内容とした。

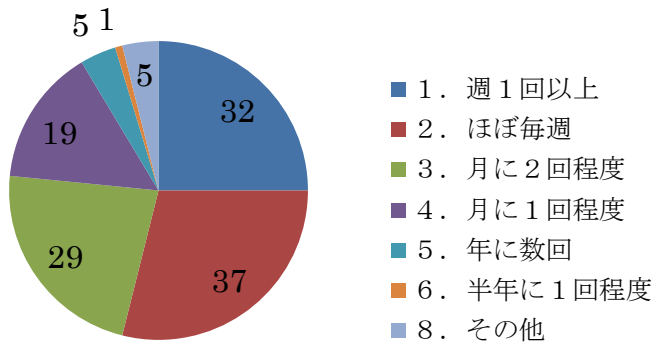
項 目 【 】はアンケートの問番号	理由・活用方法
活動頻度 （サイクリングに出かける頻度【1】、自転車道の利用頻度【2】）	需要調査 （来場者予測）
行程 （目的地【3】、休憩地【4】、利用施設【5・6】）	範囲設定 （広報範囲、モデル施設）
利用意向 （施設の必要性【7】、位置の妥当性【8】）	需要調査 （他地域への応用）
導入機能 （施設【9】、設備【9】、サービス【10】）	導入機能選定 （施設整備の優先順位）
サイクリングコースの設定要素 （コース特性【11】、付加価値【11】）	利用促進策 （モデルコース設定）
情報取得ツール （情報取得方法【12】）	広報戦略 （広報媒体の優先順位）
消費額 （1行程の消費額【13】）	観光消費額調査 （収支計算）
属性（フェイスシート） （性別【14】、年齢【15】、利用歴【16】、自転車の種類【17】）	顧客特性 （クロス集計）

アンケート集計結果

※グラフの数値は回答数

問 1-1 どれくらいの頻度でサイクリングに出かけていますか。

- ・約3割の方が、ほぼ毎週サイクリングをおこなっており、週1回以上・月に2回程度を合わせると、約8割を占める。



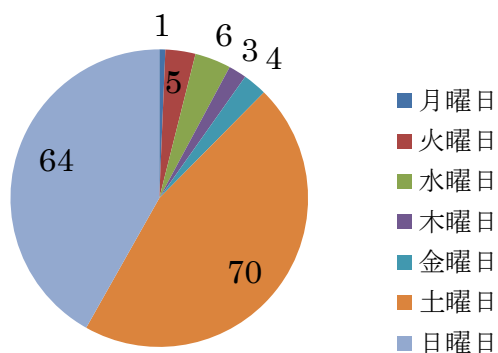
選択肢	回答数	割合
1. 週1回以上	32	25%
2. ほぼ毎週	37	29%
3. 月に2回程度	29	23%
4. 月に1回程度	19	15%
5. 年に数回	5	4%
6. 半年に1回程度	1	1%
7. 年に1回程度	0	0%
8. その他	5	4%
合計	128	100%

「8. その他」の記載内容

- ・ ほぼ毎日
- ・ 晴日は毎日
- ・ 毎日

問 1-2 よく出かけられる曜日はいつですか。(複数回答)

- ・土曜日・日曜日で約9割を占める。

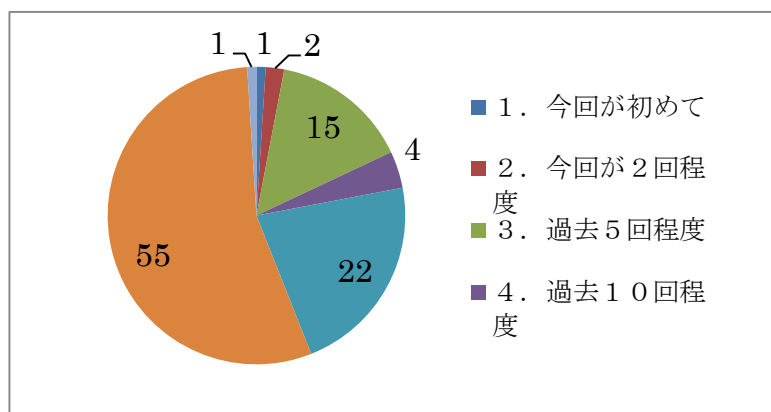


選択肢	回答数	割合
月曜日	1	1%
火曜日	5	3%
水曜日	6	4%
木曜日	3	2%
金曜日	4	3%
土曜日	70	46%
日曜日	64	42%
合計	153	100%

問2 府道京都八幡木津自転車道線はよく利用しますか。

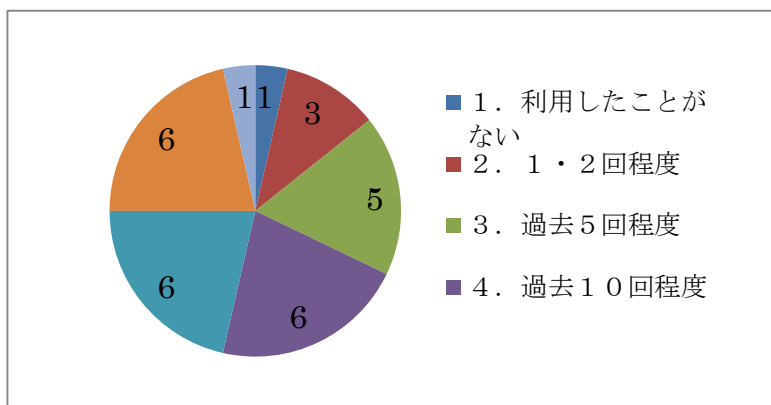
- ・自転車道配布用では、とてもよく利用するが最も多く5割を超えた。
- ・団体用配布用でも、利用したことがない方は1人であった。
- ・全体でもほとんどの方が利用した経験を持ち、過去5回程度利用している方が約9割であった。

自転車道配布用



選択肢	回答数	割合
1. 今回が初めて	1	1%
2. 今回が2回程度	2	2%
3. 過去5回程度	15	15%
4. 過去10回程度	4	4%
5. 10回以上	22	22%
6. とてもよく利用する	55	55%
未回答	1	1%
合計	100	100%

団体等配布用



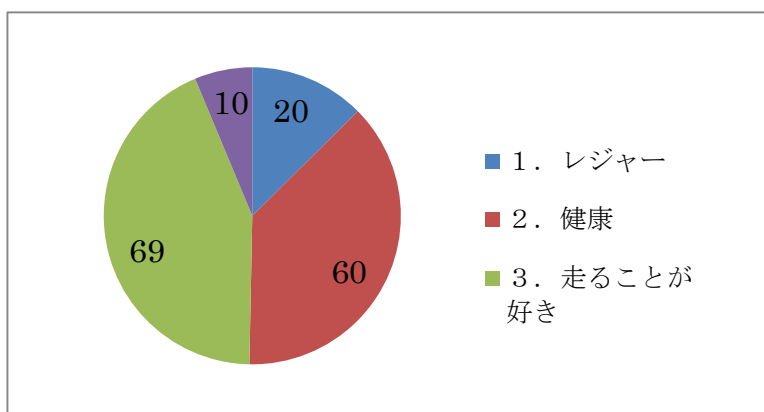
選択肢	回答数	割合
1. 利用したことがない	1	4%
2. 1・2回程度	3	11%
3. 過去5回程度	5	18%
4. 過去10回程度	6	21%
5. 10回以上	6	21%
6. とてもよく利用する	6	21%
7. 知らなかった	0	0%
未回答	1	4%
合計	28	100%

「6. とてもよく利用する」と答えた61人のひと月の利用頻度

1回： 4人	2回： 12人	3回： 4人
4回： 12人	5回： 2人	6回： 3人
7回： 3人	10回： 2人	20回： 5人
30回： 1人		

問3-1 自転車に乗る目的は何ですか。(複数回答)

・走ることが好きな方及び健康を目的とされている方がともに約4割であった。



選択肢	回答数	割合
1. レジャー	20	13%
2. 健康	60	38%
3. 走ることが好き	69	43%
4. その他	10	6%
合計	159	100%

「8. その他」の記載内容

・いろいろ ・トレーニング ・ひまつぶし ・レースの練習 ・練習

問3-2 よく行かれる目的地はどこですか。(複数回答)

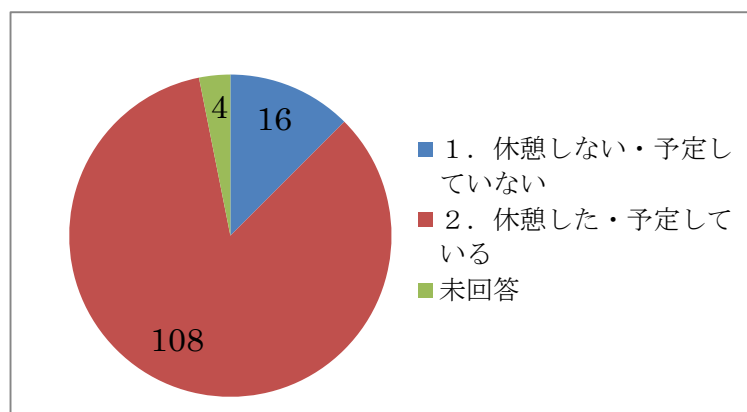
- ・府道京都八幡木津自転車道線でアンケートを行ったこともあり、嵐山・上津屋橋が約3割を占めた。
- ・木津を目的地とした方は約1割であった。

2人以上の回答があった目的地		1人から回答のあった目的地
嵐山	15人	けいはんなホテル（精華町） けいはんな記念公園（精華町） 当尾（木津川市）、三国超林道（和束町～伊賀市） 大正池（井手町）くろんど池（交野市・生駒市） 京都市、京都大原、大和郡山市、吉野町、 枚方市、門真市、淀川、藤井寺市、金剛山、 天野原、和歌山県 （地名・施設名以外） パン屋、直売所、歴史跡巡り 日帰り圏内どこでも、自然との触れ合い
上津屋橋（流れ橋）	10人	
木津 ※木津川市(1)含む	8人	
八幡市 ※御幸橋(2)含む	4人	
奈良市	4人	
信楽	4人	
和束町	3人	
京田辺市 ※京田辺市運動公園(1)含む	2人	
明日香村	2人	
滋賀県 ※琵琶湖(1)含む	2人	
大阪市	2人	

計78件

問4 休憩はどうされますか。(複数回答)

- ・約8割は途中で休憩をしたり休憩の予定をしている。
- ・府道京都八幡木津自転車道線でアンケートを行ったこともあり、上津屋橋と答えた方が多かったが、次いでコンビニであった。



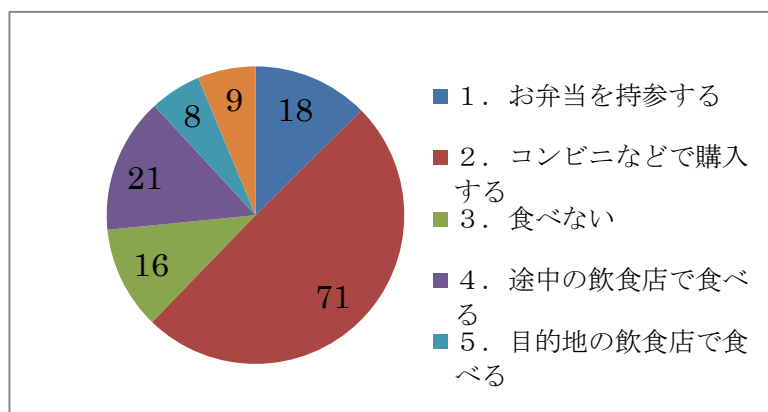
選択肢	回答数	割合
1. 休憩しない・予定していない	16	13%
2. 休憩した・予定している	108	84%
未回答	4	3%
総計	128	100%

2人以上の回答があった施設名または地名		1人から回答のあった施設名または地名
上津屋橋（流れ橋）	34人	アスパシア山城、イオン高の原、 木津、木津三角公園、 嵐山、背割堤（八幡市）、京田辺市、 山吹ふれあいセンター（井手町）、 茶カフェ（和束町）、 トイレのある所、喫茶店、川岸
コンビニ	12人	
舟形公園（京田辺市）	5人	
けいはんなプラザ（精華町）	3人	
四季彩館（八幡市）	3人	
桂大橋（京都市）	2人	
御幸橋（八幡市）	2人	
公園	2人	
石清水八幡宮（八幡市）	2人	
泉大橋	2人	
道の駅	2人	

計 81 件

問5 昼食はどうされますか。（複数回答）

- ・コンビニなどで購入している方が約5割、飲食店で食べる方は約2割であった。
- ・食べない方も約1割であった。



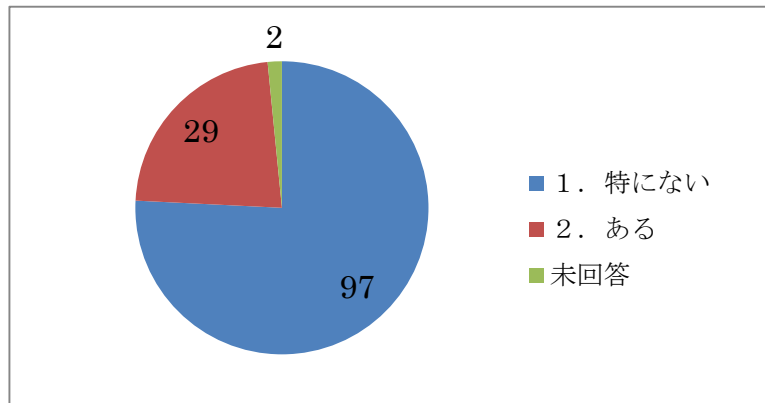
選択肢	回答数	割合
1. お弁当を持参する	18	13%
2. コンビニなどで購入する	71	50%
3. 食べない	16	11%
4. 途中の飲食店で食べる	21	15%
5. 目的地の飲食店で食べる	8	6%
6. その他	9	6%
合計	143	100%

「よく利用する施設」「その他」の記載内容

- ・家で食べる（４人） ・携帯食（２人） ・パン（１人）
- ・けいはんなプラザ（精華町）（１人） ・伏見区（１人）

問６ 普段、サイクリングでよくご利用される施設はありますか。

- ・特定の利用施設がない方が７割以上であった。
- ・コンビニを利用している方が最も多い。



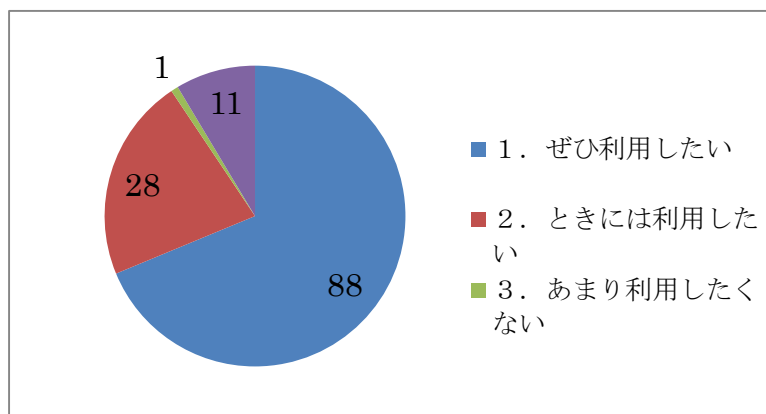
選択肢	回答数	割合
1. 特にない	97	76%
2. ある	29	23%
未回答	2	2%
合計	128	100%

２人以上の回答があった施設名		１人から回答のあった施設名
コンビニ	13 人	イオン高の原、アスパ山城、 四季彩館（八幡市）、御幸橋付近のコンビニ、 京田辺市、けいはんなプラザ（精華町）、 淀川、関西医大の休憩所（枚方市） 雨つゆをしのげる場所
トイレ	4 人	
スーパー	3 人	
道の駅等	2 人	
上津屋橋（流れ橋）	2 人	
公園	2 人	

計 35 件

問 7 木津川市内の自転車道周辺に休憩所があれば利用したいですか。

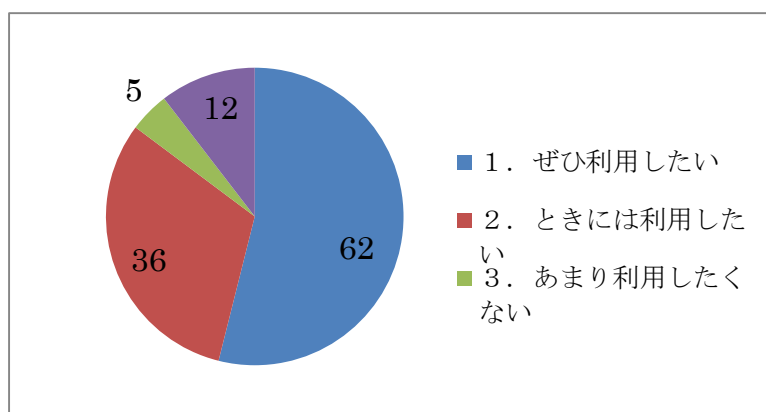
- ぜひ利用したいが約7割であり、ときには利用したいを合わせると約9割を占める。



選択肢	回答数	割合
1. ぜひ利用したい	88	69%
2. ときには利用したい	28	22%
3. あまり利用したくない	1	1%
4. 施設の内容による	11	9%
5. その他	0	0%
合計	128	100%

問 8 設置した拠点施設をご利用いただけますか。

- ぜひ利用したい・ときには利用したいを合わせると約8割を占める。
- 施設の内容によると答えた方が約1割。



選択肢	回答数	割合
1. ぜひ利用したい	61	48%
2. ときには利用したい	36	28%
3. あまり利用したくない	5	4%
4. 施設の内容による	11	9%
5. その他	2	2%
未回答	13	10%
合計	128	100%

問8-1 問8で「3. あまり利用したくない」を選択された方の理由は何ですか。

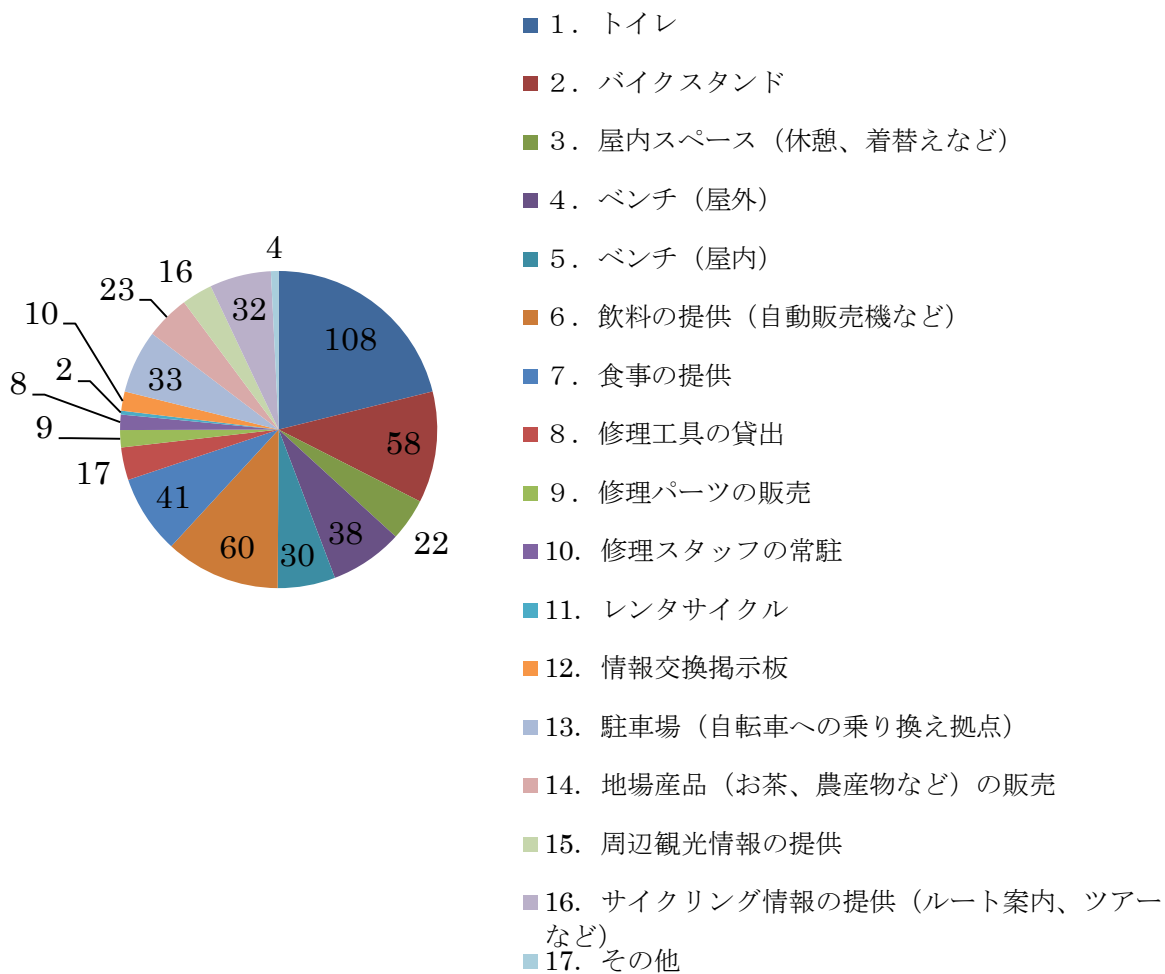
選択肢	回答数	割合
1. 自転車道から離れている	2	40%
2. 泉大橋を渡るのが面倒	0	0%
3. 周辺地域に魅力がない	0	0%
4. 施設の必要性を感じない	0	0%
5. 周辺の道路事情	0	0%
6. その他	2	40%
未回答	1	20%
合計	5	100%

「その他」の記載内容

- ・行かない

問9 拠点施設の機能として、何が特に必要と思いますか。(複数回答)

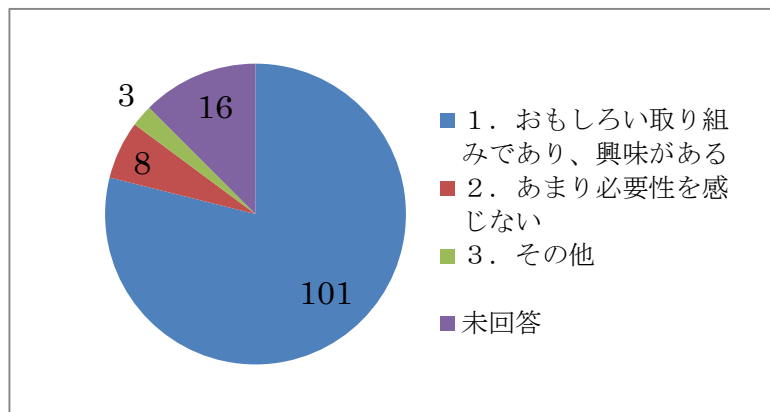
- ・回答者数 128 人に対し、トイレを選択した方が 108 人と約8割を占めた。
- ・トイレ以外で、回答者数の3割以上が選択した機能としては、飲料の提供（60人）・バイクスタンド（58人）・食事の提供（41人）・屋外ベンチ（38人）であった。



選択肢	回答数	割合
1. トイレ	108	21%
2. バイクスタンド	58	11%
3. 屋内スペース（休憩、着替えなど）	22	4%
4. ベンチ（屋外）	38	7%
5. ベンチ（屋内）	30	6%
6. 飲料の提供（自動販売機など）	60	12%
7. 食事の提供	41	8%
8. 修理工具の貸出	17	3%
9. 修理パーツの販売	9	2%
10. 修理スタッフの常駐	8	2%
11. レンタサイクル	2	0%
12. 情報交換掲示板	10	2%
13. 駐車場（自転車への乗り換え拠点）	33	6%
14. 地場産品（お茶、農産物など）の販売	23	5%
15. 周辺観光情報の提供	16	3%
16. サイクリング情報の提供（ルート案内、ツアーなど）	32	6%
17. その他	4	1%
合計	511	100%

問１０ お茶のおもてなしといった地域資源を活用したサイクリング拠点をどう感じるか。

- ・ おもしろい取り組みであり興味がある方が約８割を占める。

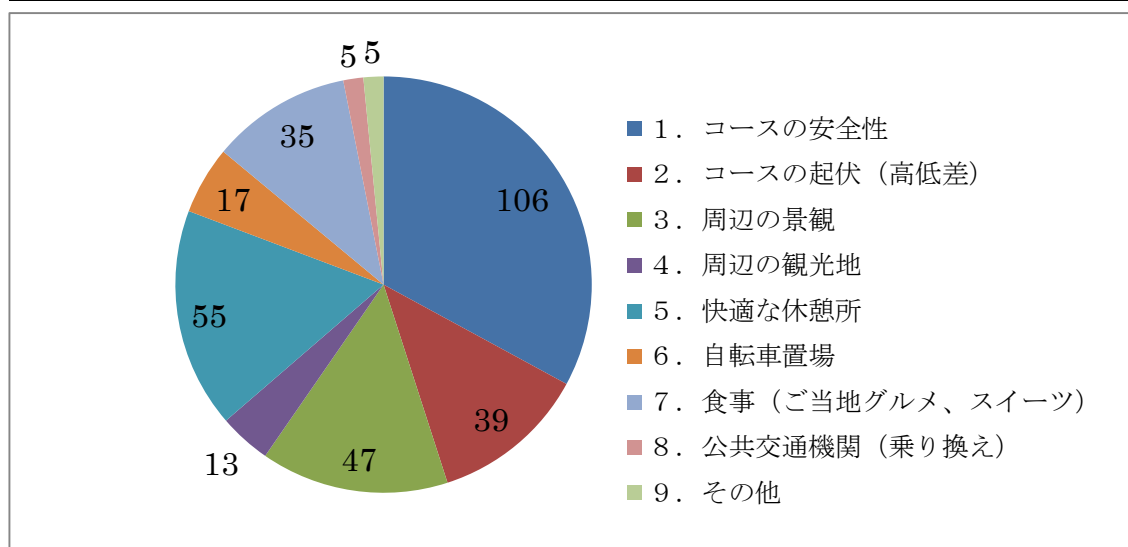


選択肢	回答数	割合
1. おもしろい取り組みであり、興味がある	101	79%
2. あまり必要性を感じない	8	6%
3. その他	3	2%
未回答	16	13%
総計	128	100%

問１１ サイクリングコースを考える上で重視していることは何ですか。

(複数回答)

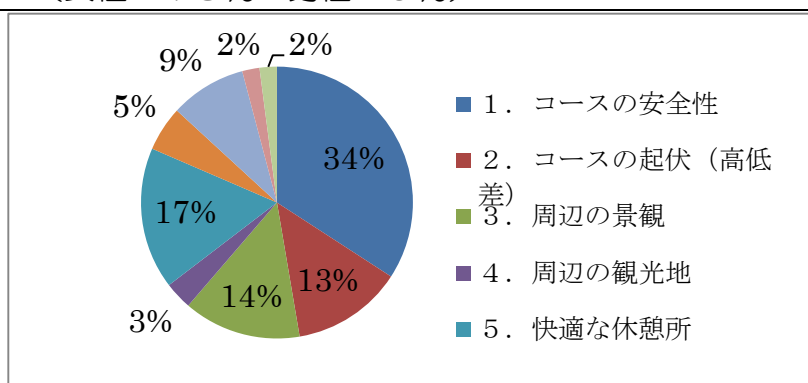
- ・ 回答者数 128 人に対し、コースの安全性を選択した方が 106 人と約 8 割を占めた。
- ・ コースの安全性以外で、回答者数の約 3 割が選択した項目は、快適な休憩所 (55 人)・周辺の景観 (47 人)・コースの起伏 (39 人)・食事 (35 人)であった。



選択肢	回答数	割合
1. コースの安全性	106	33%
2. コースの起伏(高低差)	39	12%
3. 周辺の景観	47	15%
4. 周辺の観光地	13	4%
5. 快適な休憩所	55	17%
6. 自転車置場	17	5%
7. 食事(ご当地グルメ、スイーツ)	35	11%
8. 公共交通機関(乗り換え)	5	2%
9. その他	5	2%
合計	322	100%

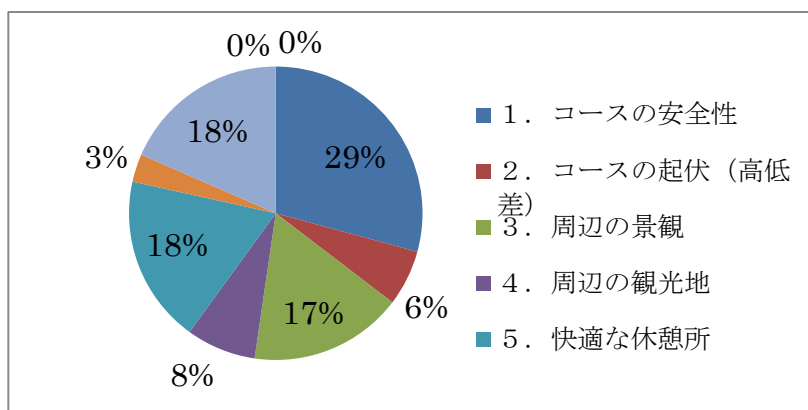
問 1 1 の男女別集計

- ・男女共にコースの安全性が最も多くいずれも約3割を占める。
- ・食事(ご当地グルメ、スイーツ)では女性の関心が高い。
(女性 18%・男性 9%)



男性

選択肢	男性	
	回答数	割合
1. コースの安全性	83	34%
2. コースの起伏(高低差)	32	13%
3. 周辺の景観	34	14%
4. 周辺の観光地	8	3%
5. 快適な休憩所	41	17%
6. 自転車置場	13	5%
7. 食事(ご当地グルメ、スイーツ)	22	9%
8. 公共交通機関(乗り換え)	5	2%
9. その他	5	2%
合計	243	100%

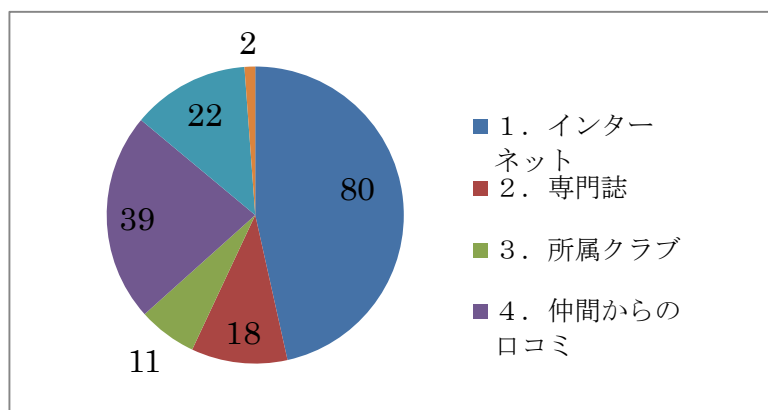


女性

選択肢	女性	
	回答数	割合
1. コースの安全性	19	29%
2. コースの起伏（高低差）	4	6%
3. 周辺の景観	11	17%
4. 周辺の観光地	5	8%
5. 快適な休憩所	12	18%
6. 自転車置場	2	3%
7. 食事（ご当地グルメ、スイーツ）	12	18%
8. 公共交通機関（乗り換え）	0	0%
9. その他	0	0%
合計	65	100%

問１２ 普段、サイクリングに関する情報（イベント、ツアーなど）をどのように取得されますか。（複数回答）

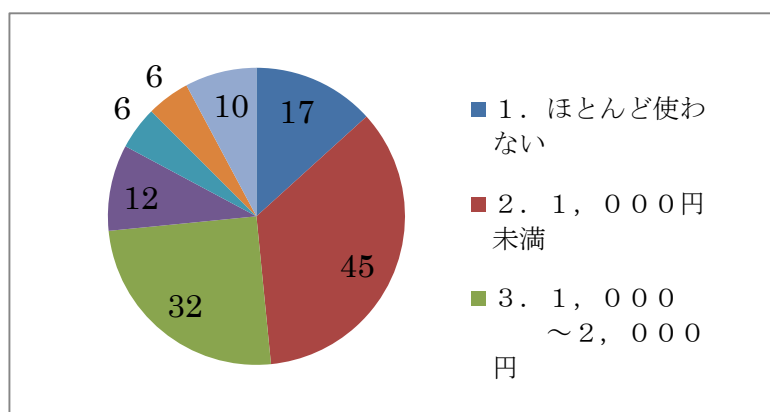
- 回答者数 128 人に対し、インターネットを活用している方が80人と約6割を占めた。
- 回答者数 128 人に対し、仲間からの口コミの方が39人と約3割を占めた。



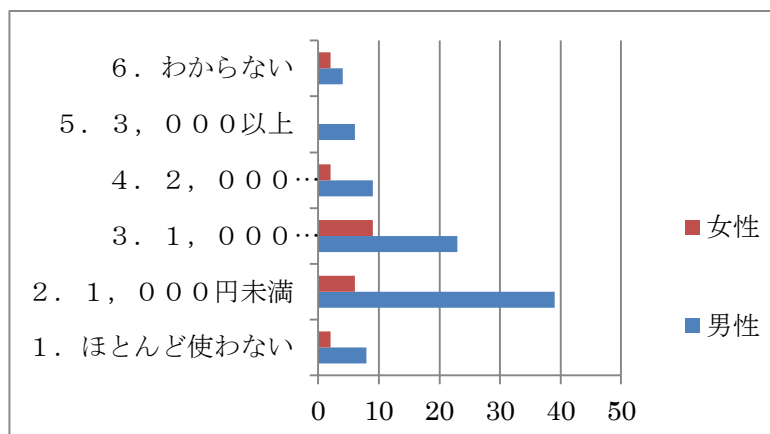
選択肢	回答数	割合
1. インターネット	80	47%
2. 専門誌	18	10%
3. 所属クラブ	11	6%
4. 仲間からの口コミ	39	23%
5. サイクリング専門店	22	13%
6. その他	2	1%
合計	172	100%

問 1 3 サイクリング 1 回の予算はどの程度ですか。

- ・ 1,000 円未満が最も多く、2,000 円未満が約 7 割を占めた。
- ・ 3,000 円以上使う方は、全体の 5%に過ぎなかった。
- ・ 男女別では、男性は 1,000 円未満が最も多く、女性は 1,000～2,000 円でした。

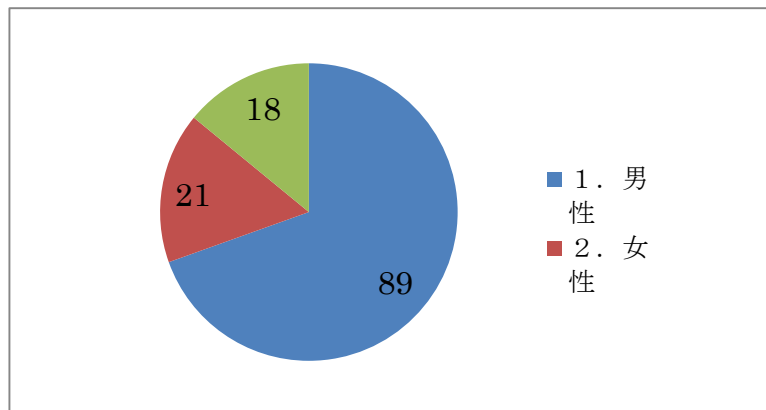


選択肢	回答数	割合
1. ほとんど使わない	17	13%
2. 1,000円未満	45	35%
3. 1,000～2,000円	32	25%
4. 2,000～3,000円	12	9%
5. 3,000円以上	6	5%
6. わからない	6	5%
未回答	10	8%
合計	128	100%



問 1 4 あなたの性別はどちらですか。いずれかに○を付けてください。

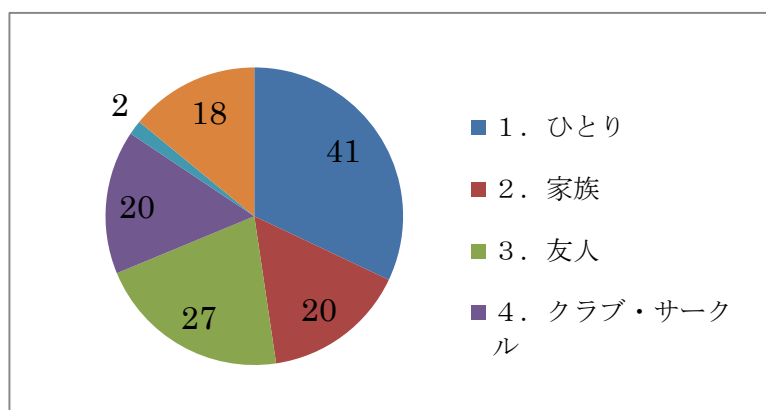
- ・男性が7割を占める。



選択肢	回答数	割合
1. 男性	89	70%
2. 女性	21	16%
未回答	18	14%
合計	128	100%

問 1 5 普段、こういった方と一緒にサイクリングをされますか。

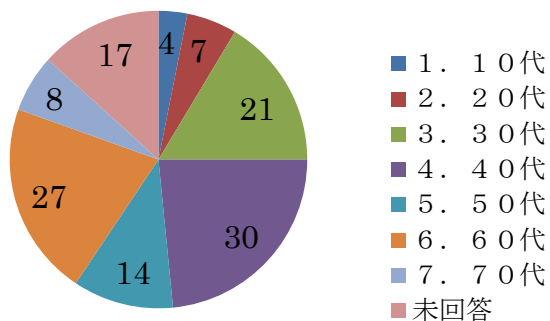
- ・ひとりで行動している方が全体の3割を占める。



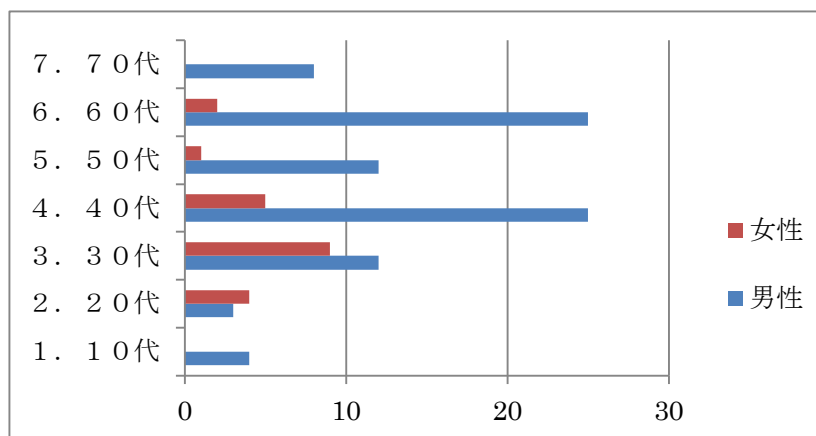
選択肢	回答数	割合
1. ひとり	41	32%
2. 家族	20	16%
3. 友人	27	21%
4. クラブ・サークル	20	16%
5. その他	2	2%
未回答	18	14%
合計	128	100%

問 16 あなたは何歳ですか。いずれかに○を付けてください。

- ・ 30代から60代で幅広い世代の利用がある。
- ・ 男性は40代・60代がそれぞれ約2割を占める。
- ・ 女性は30代が多く次いで40代となっている。

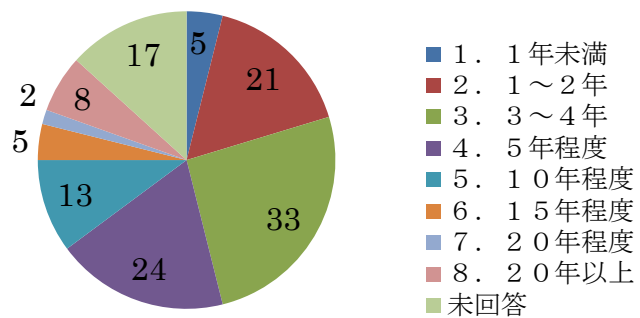


選択肢	回答数	割合
1. 10代	4	3%
2. 20代	7	5%
3. 30代	21	16%
4. 40代	30	23%
5. 50代	14	11%
6. 60代	27	21%
7. 70代	8	6%
未回答	17	13%
合計	128	100%



問 17 あなたのサイクリング歴を教えてください。いずれかに○を付けてください。

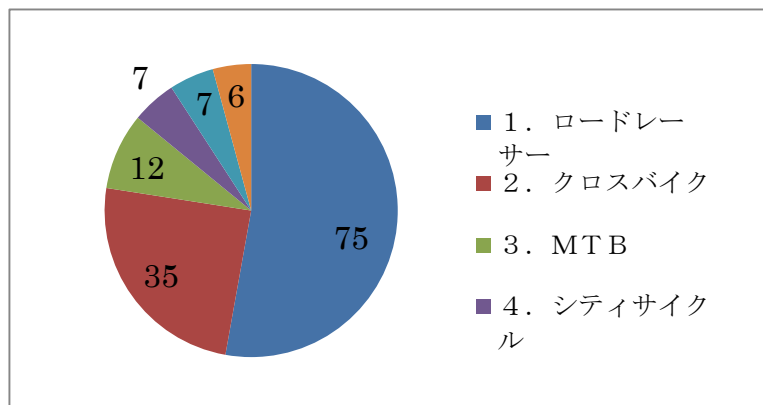
・ 5年以下の方が約7割を占める。



選択肢	回答数	割合
1. 1年未満	5	4%
2. 1～2年	21	16%
3. 3～4年	33	26%
4. 5年程度	24	19%
5. 10年程度	13	10%
6. 15年程度	5	4%
7. 20年程度	2	2%
8. 20年以上	8	6%
未回答	17	13%
合計	128	100%

問 18 普段、使用されている自転車のタイプはどれですか。(複数回答)

- ・回答者数 128 人に対し、ロードレーサーを使用している方が75人と約6割を占めた。
- ・ロードレーサーとクロスバイクの利用者が全体の約8割を占めた。



選択肢	回答数	割合
1. ロードレーサー	75	53%
2. クロスバイク	35	25%
3. MTB	12	8%
4. シティサイクル	7	5%
5. 折りたたみ自転車	7	5%
6. その他	6	4%
合計	142	100%

「6. その他」の記載内容

- ・ランドナー
- ・ミニベロ
- ・持っていない
- ・トラックレース用改造
- ・電動自転車

交流拠点の設置に関するご意見・ご提案

- ・サイクリングロードに看板を設置ください。
- ・サイクルロードのトイレの完備。
- ・トイレの完備、バイクスタンド。
- ・飲み物を補給できる自動販売機を設置してください。
- ・夏場の日陰や強風をしのげる場所及びトイレがないので是非進めてほしい。
- ・休める所がある事は有意義です。
- ・子どもも楽しめるようにして頂きたいです。
- ・子どもも遊べる公園があればうれしいです。
- ・終点ならば駐車場は是非欲しいです。夏場の水分補給場所が増えるとうれしい。
- ・女性も仲間にいるのでトイレの設置。
- ・地域の特産品を飲食できるような場所もあれば良いのでは。
- ・地元住民の理解、迷惑にならないように。
- ・駐車場（自転車への乗り換えができる施設）。
- ・特別なものはいいませんが、必要なものが常時あるとありがたい。
- ・箱だけでなくイベントにも力を入れてください。

- 木津川は関西で最も走りやすい自転車道です。施設を是非に。
- 隣接の市町村が協力して広域的な整備ができれば良いですね。御苦労さまです。
- おもしろい取組なので頑張ってください。
- がんばってください。
- ぜひ設置をお願いします。
- 頑張ってください。
- 頑張って作ってください。
- 地域交流拠点を是非実現してください。